

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
図工演習	演習	2	小林 伸雄 ・ 佐藤 有紀
【授業のテーマ及び到達目標】 造形活動の総合的な表現として、独自の紙芝居を制作する。様々な技法と素材を研究し、創意工夫を試み作品を完成させる。またその作品は保育・教育現場(教育実習、ボランティア活動)で子どもたちの前で実演することによって成果を得ることを目標とする。			
【授業の概要】 実習形式で行う。子どもを対象とした物語を考え紙芝居形式で表現する。平面上に動く仕掛けを作り創意工夫を凝らして子どもたちの興味を引く内容の紙芝居作品を制作する。実習に必要な材料の準備、調査等は各自事前に行うこと。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス(製作手順の説明等)	16. 背景・支持体の素材研究		
2. 参考作品の鑑賞/作品のプランニング	17. 背景・支持体の製作		
3. 物語のキャラクター製作(アイデアスケッチ)	18. 立体紙芝居・(登場人物・生物)の製作		
4. 物語のキャラクター製作(試作)	19. 立体紙芝居・(大道具・小道具)の製作		
5. 作品制作のための素材研究(紙・厚紙)	20. ストーリーに合わせた背景の考察		
6. 作品制作のための素材研究(布・その他)	21. ストーリー全体(内容)の完成		
7. 紙芝居背景について(画面構成)	22. 作品チェック		
8. 紙芝居背景について(平面技法・素材)	23. 動く仕掛けについて③どんでん返し		
9. 画面構成(登場人物と背景の構成)	24. 動く仕掛けについて③どんでん返しの応用		
10. 画面構成(紙芝居1場面の完成)	25. 各自制作:背景・支持体		
11. 動く仕掛けについて①直線移動のしくみ	26. 各自制作:画面構成		
12. 動く仕掛けについて①直線移動の応用	27. 各自制作:ストーリー構成		
13. ストーリー展開の考察	28. 各自制作:仕上げ		
14. プロット製作	29. 作品表紙・タイトル作成		
15. 作品内容発表・報告	30. あらすじ記入・まとめ		
【準備学習の内容】			
予習のあり方:授業で用いる用具、素材の事前準備。			
学習のあり方:作品製作に必要な技能を身に付ける他、創意工夫を試みる。			
復習のあり方:保育・教育実習など子どもと対面する場で実際に作品を活用する。			
【成績評価】 提出物(80%) 授業態度 (20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 作品に対しての寸評によるアドバイスをを行う。			
【テキスト】 授業時に配布する。			
【参考文献】 授業時に紹介する。			